

(例) 1. はじめに

A4 を A5 に縮小するので実際にはこの大きさになります。

ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ。

コメント [g1]: 大見出し  
「学会誌書式」ファイルを使用する場合は、範囲を指定して、スタイル「見出し1」を選択すると、フォントサイズ12、ボールド体、中央揃えになる。

2. ○○○○

ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ<sup>[1]</sup>。

コメント [g2]: 大見出し

コメント [g3]: 注番号  
範囲を指定して右クリック →「フォント」⇒「文字飾り」で「上付き」を選択する。

2.1. ○○○○

ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ。

コメント [g4]: 中・小見出し  
「学会誌書式」ファイルを使用する場合は、範囲を指定して、スタイル「見出し2」を選択すると、フォントサイズ11、ボールド体、左揃えになる。

Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman.  
(「英語圏の文学・文化」の分野で引用する場合はこうなります。)

コメント [g5]: 引用部  
「学会誌書式」ファイルを使用する場合は、範囲を指定して、スタイル「引用文」を選択すると、全角で2字下げ、シングルスペース（行間なし）になる。  
ただし、字下げなどの設定がすべて全角2字下げになるので注意（先にスタイルを変えてからやる方がよい）。

ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ。

2.2. ○○○○

ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああああ<sup>[2]</sup>。

コメント [g6]: 中・小見出し  
コメント [g7]: 注番号

あああ(3)。あああ。

- (1) a. Times New Roman, Times New Roman.
- b. \* Times New Roman, Times New Roman, Times New Roman. Times New Roman, Times New Roman.
- c. ?? Times New Roman, Times New Roman.
- ⋮
- (10) \*Times New Roman, Times New Roman.

あああ  
あああ  
あああ。

### 付記

本稿は、平成〇〇年度学習院大学英文学会大会（平成〇〇年〇〇月〇〇日）における口頭発表原稿に加筆・修正を施したものである。  
発表や本稿執筆に際し・・・・・・・・。

### 注

- (1) Roman, *Times New Roman, Times New Roman, and Times New Roman*, p. 110.
- (2) Roman, *Times New Roman, Times New Roman, and Times New Roman 2*, p. 119.
- (3) ああ  
あああ  
あああ。

### 参考文献

Times New Roman, *Times New Roman, Times New Roman, and Times New Roman* (〇〇〇: 〇〇〇 University Press, 2010).  
-----, *Times New Roman, Times New Roman, and Times New Roman 2* (〇〇〇: 〇〇〇 University Press, 2011).  
-----, *Times New Roman, Times New Roman, and Times New Roman 3* (〇〇〇: 〇〇〇 University Press, 2012).  
明朝太郎『MS 明朝』（〇〇〇書店、2000）。  
明朝次郎『MS 明朝改』（〇〇〇書店、2005）。  
明朝三郎『新 MS 明朝』（〇〇〇書店、2008）。

**コメント [g8]:** 注番号

**コメント [g9]:** タブ位置  
「タブとリーダー」の規定値を 2.5 字にする。「学会誌書式」ファイルでは既に設定済み。例文の始まりの位置を揃える。

**コメント [g10]:** 例文も 2 行以上の場合は、シングルスペース（行間なし）に。範囲を指定して右クリック → 「段落」⇒ 「行間」を「最小値」、「間隔」を「0 pt」に。

**コメント [g11]:** 中・小見出し  
「付記」をつけるかは自由。つける場合は、「付記」、「注」、「参考文献」の順番。

**コメント [g12]:** 付記の文章部分  
「学会誌書式」ファイルを使用する場合は、範囲を指定して、スタイル「参考文献」を選択すると、フォントサイズ 10.5、シングルスペース（行間なし）になる。  
ただし、字下げなどの設定が元に戻るので注意（先にスタイルを変えてからやる方がよい）。

**コメント [g13]:** 中・小見出し

**コメント [g14]:** 付記の文章部分と一緒に。フォントサイズ 10.5、シングルスペース（行間なし）にする。

**コメント [g15]:** 中・小見出し

**コメント [g16]:** 付記の文章部分と一緒に。フォントサイズ 10.5、シングルスペース（行間なし）にする。